

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	03	174330	広域観光推進事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-4	観光の振興			
	施策	1	観光の魅力向上			
目的	市内への誘客促進					
対象	観光客					
意図	花巻を訪れる機会が広がる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○イーハトーブ周遊観光促進支援 花巻・遠野・平泉・釜石・大槌・大船渡・陸前高田の観光素材を連携させた特典付き広域観光ツアー実施への支援 ○釜石線沿線活性化事業支援 釜石線沿線の自治体等が連携して、SL銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線活性化委員会への負担金 ○産業観光パンフレット作製 北上市と連携して広域的な産業観光（工場見学等）パンフレットを作製 ○体験型観光事業の創出（繰越明許費） 体験型事業の改良・新設、予約システムの開発及び展開、外国個人旅行対応モニター事業を実施 ○広域観光戦略基盤調査（繰越明許費） 観光客対象アンケート調査、インターネットでの非来訪者調査、外国人モニターツアーの実施						
市民参画の有無 [無]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	特典付きツアー開催回数	回	計画	180	180	
			実績	161	167	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	特典付きツアー参加人数	人	目標	7,000	7,000	
			実績	4,912	4,889	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 釜石橋野高炉跡の世界遺産登録及び訪問先候補地を3箇所追加したことによる増加分を加味して目標値を設定したが、追加による利用増は図られなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	誘客促進のため、広域連携による旅行商品の造成・観光PR等に必要支援を行う必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	新たな連携先や連携する題材等を検討することで、より効果的な事業を実施し成果を上げることができる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	一時、平泉への入込数が減少したことからツアー回数も減少したが、商談会等での積極的なPR活動等により増加してきたため、事業費が不足がちになっている。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	特典付ツアー・イベント等への参加機会は平等に与えられている。
総合評価 …上記評価結果の総括 広域的に観光資源を組み合わせた広域観光ルートを造成することは、集客力を向上させるうえで重要である。 新たな地域との連携や、新たな観光資源を活用して、更なる広域化を促進させる必要がある。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業]コード	事業名
一般	07	01	03	174330	広域観光推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,510	31,645		25,135
財 源 内 訳	国・県	739	28,356		27,617
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,771	3,289		△ 2,482

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します。

事業開始の背景・経緯

花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と、広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要

- イーハトーブ周遊観光促進支援
花巻・遠野・平泉・釜石・大槌・大船渡・陸前高田の観光素材を連携させた特典付き広域観光ツアー実施への支援
- 釜石線沿線活性化事業支援
釜石線沿線の自治体等が連携して、S L 銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線活性化委員会への負担金
- 産業観光パンフレット作製
北上市と連携して広域的な産業観光(工場見学等)パンフレットを作製
- 体験型観光事業の創出(繰越明許費)
体験型事業の改良・新設、予約システムの開発及び展開、外国個人旅行対応モニター事業を実施
- 広域観光戦略基盤調査(繰越明許費)
観光客対象アンケート調査、インターネットでの非来訪者調査、外国人モニターツアーの実施

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 広域連携する相手方(自治体等)と、受益を共有できる仕組みづくりを心掛けること。

担当部署 部名 商工観光部 課名 観光課 担当係長 似内 泉 内線 288
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

① イーハトーブ周遊観光促進事業補助金 5,000千円

(一社)花巻観光協会が実施する、広域的に観光資源を組み合わせた特典付きツアー企画を支援

- 条件を満たした広域周遊ツアーの利用者(販売した旅行者)に特典をサービスする。
 - 《条件》
 - ・花巻市内に宿泊
 - ・20名以上の団体
 - ・遠野、平泉、釜石、大槌、大船渡、陸前高田のうち2箇所以上を訪問
 - 《特典》
 - ・花巻：郷土芸能鑑賞
 - ・遠野：民話の語り部
 - ・大槌：観光(震災)ガイドの手配
 - ・陸前高田：観光(震災)ガイドの手配
 - ・平泉：専門ガイドの手配
 - ・釜石：観光(震災)ガイドの手配
 - ・大船渡：観光(震災)ガイドの手配

② 釜石線沿線活性化委員会負担金 400千円

J R 釜石線沿線の自治体(花巻市、遠野市、釜石市、住田町)と岩手県(県南広域振興局、沿岸広域振興局)及びJ R 盛岡支社等が共同で実施する誘客事業に対する負担金

- 《内容》
 - ・S L 銀河関連事業の実施
 - ・S L 銀河パンフレットへの情報掲載

③ 産業観光パンフレット作製 389千円

広域エリアで工場見学ができる企業等を紹介する産業観光パンフレットを作製
教育旅行が主なターゲット

- 《内容》
 - ・北上市と共同で作製
 - ・発行部数 2,500部

④ 体験型観光事業の創出 18,754千円(繰越明許費)

- 1 体験型事業の改良と新規開発事業
大型ブル体験、健考ウォーキング、北上川ラフティング、オール花巻ドレッシング作り、若手農家の農業体験(共同申請)、農村体験型カフェ等
(連携市町) 乗馬体験(遠野市)、公道を走れるゴーカート(平泉町)など
- 2 体験型事業の広域予約システム開発及び展開事業
花巻体験型事業の展開促進支援事業、体験予約システムの開発及び展開事業
- 3 海外個人旅行対応モニターツアー事業
海外個人旅行対応モニターツアーの実施

⑤ 広域観光戦略基盤調査 7,102千円(繰越明許費)

- 1 観光客実態調査(来訪観光客へのアンケート)
サンプル数762(日本語、英語、簡体字、繁体字) 花巻駅、賢治記念館、温泉等
- 2 非来訪者対象web調査(来花経験または来花意向のある日本人、外国人へのアンケート)
サンプル数1,000(東北、首都圏、中京圏、関西圏各200、米国、中国各100)
- 3 モニタリング調査(外国人モニターツアーの実施2/23~24)
台湾人、タイ人等5名、市内観光施設を回り意見を聴取